

第5節 刺激の効果と臨床実践	36
第6節 適応症と注意事項	38
第7節 典型的な症例の治験	39
1 脳血管障害	28 癱閉〔排尿障害・排尿困難〕
2 眩暈〔めまい〕	29 遺尿〔夜尿症〕
3 暈厥〔失神〕	30 遺精
4 脳振盪後遺症	31 陽痿〔インポテンス〕
5 小舞蹈病	32 肛門搔痒
6 頭揺	33 口腔潰瘍
7 癲癇	34 失音〔失声症〕
8 癲狂〔精神障害〕	35 網膜炎
9 癔病〔ヒステリー〕	36 視神経萎縮
10 微熱	37 複視
11 慢性気管支炎	38 眼瞼下垂
12 胸膜炎	39 斜視
13 震顫〔振顫〕	40 白内障
14 肩関節周囲炎	41 鼻炎
15 腰腿痛	42 耳鳴り・耳聾〔難聴〕
16 顔面神経炎〔顔面神経麻痺〕	43 甲状腺腫大
17 偏頭痛〔片頭痛〕	44 リンパ節炎
18 周期性麻痺	45 白癜風〔白斑〕
19 橈骨神経麻痺	46 湿疹
20 心筋異常	47 蕁麻疹
21 嘔吐	48 神経性皮膚炎
22 呃逆〔しゃっくり〕	49 鵝掌風〔手部慢性湿疹〕
23 放射線障害	50 対側性進行性掌蹠紅斑角皮症
24 腸癒着〔腸管癒着症〕	51 脱毛
25 水腫〔浮腫〕	52 脱肛
26 慢性腎炎	53 蟻虫病〔ぎょう虫症〕
27 淋病	54 子宮脱

55 不妊症	60 驚厥〔小児のひきつけ〕
56 卵管留水症	61 知恵遅れ
57 子宮筋腫	62 多動症
58 溢乳〔乳汁漏出〕	63 口吃〔どもり〕
59 小児麻痺〔ポリオ〕	

第3章 温通法

139

第1節 火針療法の歴史	140
火針の品質／火針の加熱／火針の刺法／火針の刺入深度／火針の適応症／火針の効果	
第2節 温通法のメカニズムと適応症	153
祛寒除湿／清熱解毒／消癥散結／祛腐排膿／生肌斂瘡／益腎壯陽／昇陽挙陷・温中和胃／宣肺定喘／通經止痛／祛風止痒／解癥止攣／除麻	
第3節 温通法の針具	160
細い火針／中ぐらいの太さの火針／太い火針	
第4節 温通法の施術	163
火針療法における操作上の必要事項	
第5節 温通法の刺法	171
1 針具の太さの分類	3 抜針の速さの分類
2 刺針方法の分類	
第6節 典型的疾患の治療例	175
1 脳血管障害の後遺症	8 痿証〔四肢の運動麻痺〕
2 哮喘〔喘鳴を伴う呼吸困難〕	9 小児麻痺後遺症
3 胃下垂	10 多発性神経炎
4 腸管癒着症	11 脳振盪後遺症
5 便澇〔下痢〕	12 アキレス腱断裂
6 顔面筋痙攣	13 捻挫
7 鶴膝風〔膝関節の腫大・疼痛〕	14 頸部リンパ節結核

- 15 甲状腺腫
- 16 血管腫
- 17 耳下腺炎
- 18 多発性大動脈炎
- 19 閉塞性血栓血管炎
- 20 血栓性静脈炎
- 21 下肢の慢性潰瘍
- 22 皮下腫瘍
- 23 腱鞘囊腫
- 24 卵巣囊腫
- 25 膀胱腫〔鼠径部の癰腫〕
- 26 乳がん
- 27 外陰白斑
- 28 バルトリン腺膿瘍
- 29 神経性皮膚炎
- 30 凍瘡〔しもやけ〕
- 31 翼状片
- 32 鼻出血
- 33 鶏眼〔うおのめ〕

- 13 毛囊炎
- 14 湿疹
- 15 帯状疱疹
- 16 アレルギー性皮膚炎
- 17 汎発性神経性皮膚炎
- 18 牛皮癬〔乾癬・鱗屑癬〕
- 19 舌腫〔舌が腫れて痛む〕
- 20 丹毒
- 21 下肢静脈瘤

第4章 強通法

239

第1節 瀉血療法の歴史	240
第2節 強通法のメカニズムと応用	243
解熱作用／止痛作用／解毒作用／瀉火作用／止痒作用／消腫作用／痺れを治す作用／嘔吐を抑える作用／止瀉作用／救急治療	
第3節 強通法の針具と刺法	248
三稜針／毫針／梅花針／緩刺法／速刺法／挑刺法／圍刺法／密刺法	
第4節 強通法の禁忌と注意事項	253
患者の禁忌／手法の禁忌／大・中動脈の刺針の禁忌／腧穴を正確に取る／消毒を徹底する／針具が鋭利である／持針の確実性	
第5節 典型的な疾患の治療例	255
1 発熱	7 疳積〔小児の慢性栄養不良〕
2 流行性脳脊髄膜炎	8 急性結膜炎
3 高血圧症	9 酒皸鼻
4 三叉神経痛	10 脱毛症
5 麻木〔痺れ・知覚麻痺〕	11 瘡瘡〔アクネ〕
6 急性胃腸炎	12 黄褐斑〔肝斑〕

[参考資料] 賀氏針灸三通法による頸椎症治療 265 例の臨床報告 …… 297

- 1 臨床データ
- 2 治療方法
- 3 治療結果
- 4 典型的な症例
- 5 考察

【付録】 本書で用いられた腧穴の一覧表 …… 305

あとがき …… 315

索引 …… 317